

令和6年度（2024年度）第1回南大沢中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和6年（2024年）5月18日（土） 9：30～12：00
場所	南大沢中学校 3階 家庭科室
出席者	参加者： 飯田、磯田、今泉、柿島、木村、佐藤、高津、高橋、田中（茂）、廣瀬、廣田、福澤、吉村 見学者： 塩田、芦田 子ども・若者育成支援センター： 永井、山田 高齢者あんしん相談センター南大沢： 青山 支え合い推進課： 西田 第一層生活支援コーディネーター： 今泉 経営計画課地域づくり担当： 伊東、石川、河端、田中
配布資料	第5回南大沢中学校区地域づくり推進会議 議事概要（案） 第1回南大沢中学校区地域づくり推進会議資料 資料1 プロジェクトPRシート

## 第1部

### 1 開会

事務局職員の異動があったため、新体制の職員を紹介した。

### 2 事務局からの報告

#### (1) 「第4回八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会」

第1回南大沢中学校区地域づくり推進会議資料に沿って説明した。

（南大沢中学校区から参加している吉村氏から報告）

市は全市展開する予定だったが、課題が出てきた。全市的に同じやり方をするのではなく、その地域の状況に合ったやり方を続けていければいい。地域づくりの3原則は南大沢ではすでにやっているのので、これまでの活動を変えることなく自信を持って続けていきたい。市の職員にはこれまで通りお手伝い願いたい。

#### (2) 年間スケジュールの確認

第1回南大沢中学校区地域づくり推進会議資料に沿って年間スケジュールを確認した。

#### (3) モデル地区における活動団体の進捗

第1回南大沢中学校区地域づくり推進会議資料に沿って説明した。

#### 参加者からの意見

- ・川口、長房が立ち上げた団体は図の活動団体にあたるのか。  
→そのとおりである。
- ・推進会議のプロジェクトを主体的に進めるためには活動団体を立ち上げる必要があるか  
→推進会議は会議体なので、主体的に活動できる仕組みを用意している。
- ・活動団体には推進会議に入っていない人も入れるのか。  
→そのとおりである。
- ・活動団体は一般社団法人ではなく、任意団体か。  
→任意団体である。
- ・川口、長房地区の団体は会費をどのように集めているか。  
→川口、長房地区では、参加者は個人として会費を出している（町会などの団体からの会費ではない）

・団体を立ち上げることになる、大ごとになる。立ち上げる話し合いを今後の推進会議で皆さんとしたい。  
→プロジェクトの内容にもかかわることになるので、役員会の中で話し合っていて、会議の中で話し合う時間を多めにとっても良い。

### 3 審議事項

#### (1) 開催通知等の送付方法について

- ・事務局が第1回南大沢中学校区地域づくり推進会議資料に沿って説明をした。
- ・開催通知及び欠席者への会議資料はメールで送付することが決定した。
- ・添付データを開けない方への対応として、開催通知はメール本文に日時等の内容を本文に入力。会議資料はHPに資料をアップロード後、URLをメールで送付すると決定した。

#### 参加者からの意見

- ・同じメールアドレスにパスワード解凍メールが届くことに意味があるのか。  
→市のセキュリティ上の決まりとして、自動的に送られてしまう。
- メールは第三者が簡単に閲覧できてしまうため、1つのデータで見られないようにしているのではないか。

#### (2) 議事概要の確認方法について

- ・事務局が第1回南大沢中学校区地域づくり推進会議資料に沿って提案をした。
- ・役員にメールで送付し、確認することが決定した。

#### (3) 会議の進行について

- ・事務局が第1回南大沢中学校区地域づくり推進会議資料に沿って提案をした。
- ・司会者は会議メンバーの中から選出し、都度プロジェクトチームごとに選出することが決定した。

#### 参加者からの意見

- ・プロジェクトごとに話したいことがあるため、プロジェクトごとに司会者をだすのはどうか。
- ・プロジェクトごとに話すことと推進会議としてみんなで話すことがそれぞれあると思う。
- 今回のように、今後の会議も2部制にする予定。
- ・プロジェクトごとに集まりたい。
- 会議の中だけでなく個別に集まり、活動していただけて良い。
- ・年5回も集まらないといけないのか。土日に集まれない人もいるため、開催方法や会議自体のあり方を考える必要がある。また、市が求めている成果は何か。それを踏まえて会議に参加する必要があるか、自分たちで判断する話し合いをしたい。
- 令和5年度と令和6年度はやっていただくことがかなり違う。令和5年度までは計画づくり。令和6年度は地域のつながりをより広めていって欲しい。今年度市としてこれをやっていただきたいというものは無いが、地域の横串を通すプラットフォームとして必要なのではないか。
- ・この会議をどうやって活用するか住民で考えて、逆提案するのはどうか。
- ・地域づくりへの熱量はひとそれぞれなので、もう一度可視化した方が良いのでは。
- ・それぞれ個別で団体が動いているので、団体を補完できるような組織があれば良い。
- ・住民の声としてあげられるような、住民が力を持った団体をつくりたい。

### 4 情報交換「みんなにシェア・みんなでシェア」

- ・はちビバの案内（子ども・若者育成支援センター）

→南大沢には施設はないが、柏木小や南大沢小に出張に来ていただいた。（参加者）

- ・つながり処すまいるのイベント案内（高齢者あんしん相談センター南大沢）
- ・LinNa ガーデンシアターの案内（南大沢町会）

## 第2部

## 5 プロジェクト毎の話し合い

プロジェクトチーム毎に話し合いをした。

(各グループから共有したいこと)

### ○地域をつなぐイベント

- ・7月27日開催の南大沢夏まつりを支援する。
- ・8月に開催する地域のイベント（八幡神社の例大祭、都立大の子ども祭り、児童館の祭り）も周知する。

### ○情報まどぐち

- ・南大沢夏まつりの情報をPRする。
- ・毎年やっているローカルイベントの一覧を作りたいので情報があればグループで共有する。グループ外の方もイベントのチラシの写真と文章をメールで送っていただきたい。

### ○憩い場づくり

- ・まずどんな居場所があるかを知るために、ぼまる場を活用してつながりづくりをしたい。

## 6 閉会

次回の推進会議の日程確認を行った。

以 上